



GIJUTSUSEN®

SNOWBOARD



NPO法人 山梨県スキー連盟



Date 2026.1.31(Sat)~2.1(Sun)

Site まつたいファミリースキー場



第23回全日本スノーボード技術選手権大会予選会兼

第4回新潟県スノーボード技術選手権大会

第1回新潟県マスターススノーボード技術選手権大会
同時開催

第2回甲信越ブロックジュニアスノーボード技術選手権大会

第1回東京都ジュニアスノーボード技術選手権大会



NTT docomo

DEFENDER

野獣会
Produced by Yatsu Project



OGASAKA

YONEX



【大会役員】

第4回新潟県スノーボード技術選手権大会兼第23回全日本スノーボード技術選手権大会予選会

第1回新潟県スノーボードマスターズ技術選手権大会

第2回甲信越ブロックジュニアスノーボード技術選手権大会

第1回東京都ジュニアスノーボード技術選手権大会

docomo未来フィールド

【大会役員】

大会会長	(公財)新潟県スキー連盟会長	秋山 博一		
大会副会長	(公財)長野県スキー連盟会長	北野 貴裕		
	NPO法人山梨県スキー連盟	渡辺 淳也		
	(一財)東京都スキー連盟会長	和田 守義		
大会委員長		園部 健		
大会委員		西村 基男	武川 和正	栗飯原 勉
顧問	まつだいファミリースキー場 管理者	宮澤 秀志		
	株式会社ゼロワン 代表取締役	長久 充		
	FAMILY 代表取締役	須藤 和義		
	松代スキー協会	鈴木 孝雄		
	野獣会スノーボードクラブ	石川 祐樹		

【組織委員】

組織委員長		園部 健		
組織副委員長		西村 基男	武川 和正	金子 奈々
組織委員		清水 太志	渡辺 悦子	寺島 敏 勝呂雄一郎
TD	ジュリーメンバー	佐藤 和宏		
競技委員長	ジュリーメンバー	加藤 孝		
コーディネーター	ジュリーメンバー	高波 徹		
セクレタリー	ジュリーメンバー	松村 博幸		
コース係長	ジュリーメンバー	横山 敦史		
審判長	ジュリーメンバー	布施 孝司		
スタート審判	ジュリーメンバー	佐藤 将太		
フィニッシュ審判	ジュリーメンバー	荻野 絵里		

【実行委員】

実行委員長	(公財)新潟県スキー連盟	園部 健		
実行副委員長	(公財)長野県スキー連盟	西村 基男		
	NPO法人山梨県スキー連盟	武川 和正		
	(公財)東京都スキー連盟	栗飯原 勉		
実行委員	清水 太志 布施 孝司 高波 徹 寺島 敏 柴田 大			
	勝呂 裕一郎 松村 博幸 小池 保 長谷川 勝 平間 和徳			
	ドコモ CS 新潟支社			

【競技役員】

責任者	清水 太志			
TD	佐藤 和宏			
競技委員長	加藤 孝			
コーディネーター	高波 徹			
セクレタリー	村松 博幸			
コース係長	横山 敦史			
コース係	長谷川 勝			
審判長	布施 孝司			
審判員	A.柴田 大 B.寺島 敏 C.勝呂 裕一郎			
スタート審判	佐藤 将太			
フィニッシュ審判	荻野 絵里			
点呼係	石川 祐樹			
掲示計算係	小池 保			
救護係	まつだいファミリースキー場パトロール			
総務係長	今井 喜行			
総務係	野獣会スノーボードクラブ			
MC	平間 和徳			

【運営概要】

第4回新潟県スノーボード技術選手権大会兼第23回全日本スノーボード技術選手権大会予選会
第1回新潟県スノーボードマスターズ技術選手権大会
第2回甲信越ブロックジュニアスノーボード技術選手権大会
第1回東京都ジュニアスノーボード技術選手権大会
docomo未来フィールド

- 【主催】 公益財団法人全日本スキー連盟甲信越ブロック協議会
【主管】 公益財団法人新潟県スキー連盟
【共催】 株式会社docomo 株式会社ゼロワン Ogasaka Snowboard YONEX FAMILY
【後援】 十日町市まつだいファミリースキー場
【協力】 公益財団法人 長野県スキー連盟 NPO法人山梨県スキー連盟
一般財団法人 東京都スキー連盟 松代スキー協会 野獣会スノーボードクラブ
【公式掲示】 新潟県スキー連盟スノーボード委員会Facebookページ内にて掲示とする。

【代表者会議】

1. TCミーティングの出席は、監督またはコーチ或は各県代表選手とし数名程度とする。
2. 公式掲示等に対して、質疑及び確認事項等がある場合はTCより質疑する。

【本大会の出場選手の画像や映像等の配信について】

本大会に出場される選手の皆様は、大会中の画像や映像が、報道媒体や一般観覧者などの第三者によって、各種媒体（映像媒体、紙媒体、WEB媒体など含む。）にて配信される可能性があることをご承知ください。配信者に対しては、個人のプライバシー確保に十分配慮することを周知いたしますが、配信者とトラブルになった際は当事者間で解決していただきます。

【本大会を観戦される皆様の画像や映像等の配信について】

出場選手の画像や映像等を配信する場合、本大会の普及を目的としてください。また、個人のプライバシー確保には、十分配慮してください。なお、配信においてトラブルになった際は当事者間で解決していただきます。

【競技中及び公式練習中の障害処置について】

出場選手が競技中及び公式練習中に傷害を受けた場合、主催者は応急処置のみをおこなうものとし、以後は各自の責任において処置を行うこと。

【大会バーン】

中級コース(上部～中部)
・全種目

【大会バーンコースデータ】

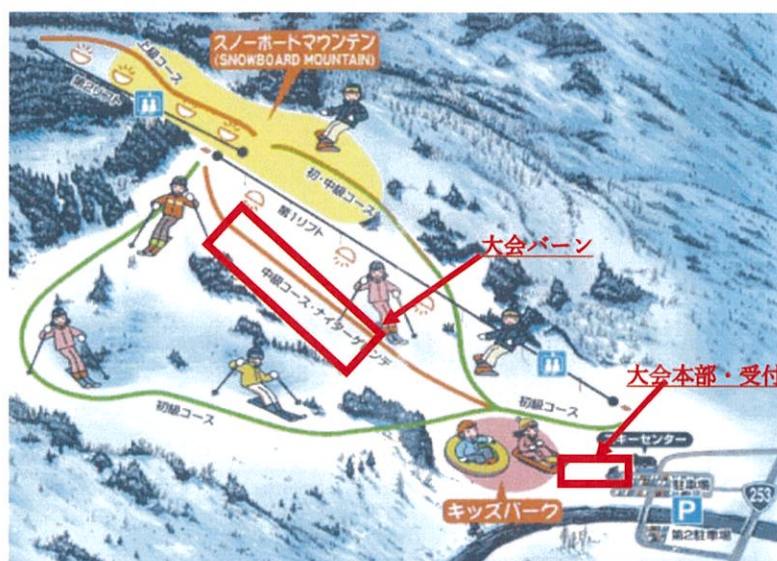
最大斜度：24度
コース距離：250m
標高差：200m

【乗車所要時間】

第1リフト：約7分

【本部宿舎】

まつだい芝峠温泉 雲海
新潟県十日町市蓬平11-1
025-597-3939



【大会役員】
第4回新潟県スノーボード技術選手権大会兼第23回全日本スノーボード技術選手権大会予選
第1回新潟県スノーボードマスターズ技術選手権大会
第2回甲信越ブロックジュニアスノーボード技術選手権大会
第1回東京都ジュニアスノーボード技術選手権大会
docomo未来フィールド

【大会役員】

大会会長	(公財) 新潟県スキー連盟会長	秋山 博一			
大会副会長	(公財) 長野県スキー連盟会長	北野 貴裕			
	NPO法人山梨県スキー連盟	渡辺 淳也			
	(一財) 東京都スキー連盟会長	和田 守義			
大会委員長		園部 健			
大会委員		西村 基男	武川 和正	栗飯原 勉	
顧問	まつだいファミリースキー場 管理者	宮澤 秀志			
	株式会社ゼロワン 代表取締役	長久 充			
	FAMILY 代表取締役	須藤 和義			
	松代スキー協会	鈴木 孝雄			
	野獣会スノーボードクラブ	石川 祐樹			

【組織委員】

組織委員長		園部 健			
組織副委員長		西村 基男	武川 和正	金子 奈々	
組織委員		清水 太志	渡辺 悦子	寺島 敏	勝呂雄一
TD	ジュリーメンバー	佐藤 和宏			
競技委員長	ジュリーメンバー	加藤 孝			
コーディネーター	ジュリーメンバー	高波 徹			
セクレタリー	ジュリーメンバー	松村 博幸			
コース係長	ジュリーメンバー	横山 敦史			
審判長	ジュリーメンバー	布施 孝司			
スタート審判	ジュリーメンバー	佐藤 将太			
フィニッシュ審判	ジュリーメンバー	荻野 絵里			

【実行委員】

実行委員長	(公財) 新潟県スキー連盟	園部 健			
実行副委員長	(公財) 長野県スキー連盟	西村 基男			
	NPO法人山梨県スキー連盟	武川 和正			
	(公財) 東京都スキー連盟	栗飯原 勉			
実行委員	清水 太志	布施 孝司	高波 徹	寺島 敏	柴田 大
	勝呂 裕一郎	松村 博幸	小池 保	長谷川 勝	平間 和徳
	ドコモ CS 新潟支社				

【競技役員】

責任者	清水 太志				
TD	佐藤 和宏				
競技委員長	加藤 孝				
コーディネーター	高波 徹				
セクレタリー	村松 博幸				
コース係長	横山 敦史				
コース係	長谷川 勝				
審判長	布施 孝司				
審判員	A.柴田 大	B.寺島 敏	C.勝呂 裕一郎		
スタート審判	佐藤 将太				
フィニッシュ審判	荻野 絵里				
点呼係	石川 祐樹				
掲示計算係	小池 保				
救護係	まつだいファミリースキー場パトロール				
総務係長	今井 喜行				
総務係	野獣会スノーボードクラブ				
MC	平間 和徳				

【タイムテーブル】

第4回新潟県スノーボード技術選手権大会兼第23回全日本スノーボード技術選手権大会予選会

第1回新潟県スノーボードマスターズ技術選手権大会

第2回甲信越ブロックジュニアスノーボード技術選手権大会

第1回東京都ジュニアスノーボード技術選手権大会

docomo未来フィールド

大会内容			場 所	docomo未来フィールド内容		場 所	
1月30日 (金)	9:00	役員集合（一部）	・大会本部 スキー学校	1月30日 (金)			
	10:00	ミーティング					
	10:00	事務局準備	・大会バーン開放				
	12:00	※各自責任にて練習可能					
	13:00	コート準備	・大会バーン開放		13:00	役員集合	・センターハウス
	15:00	※各自責任にて練習可能			15:00	ミーティング	
1月31日 (土)	15:00	役員ミーティング	・大会本部	1月31日 (土)	15:00	受付準備	・受付場所
	15:30	事務局準備	・大会本部宿舎		17:00	ビブ・同意書等準備	
	7:30	役員集合	・大会本部 スキー学校		8:00	役員集合	・センターハウス
	8:00	強化講習受付・選手受付			9:00	受付・レンタル貸出	・1Fレンタル
	8:15	代表者会議	センターハウス前		9:45	役員配置完了	・パークコース
	9:45	強化講習会開会式			10:00	オリンピック登場	
	9:55	役員配置完了	・大会バーン		10:15	フリートーク	・センターハウス前
	10:00	強化講習・公開練習			10:30	セッション（レッスン）	・パークコース
	12:00	公開練習			11:30	昼 食	・センターハウス
	12:00	選手受付			12:30		
	12:45	開会式	・ゲレンデ前		13:00	閉会式	・センターハウス前
	13:00	インスペクション	・大会バーン		13:30	解放（ビブ回収）	・センターハウス
	13:30	点呼開始			フリー滑走 自己責任でお願いします。 大会見学等		
	13:40	役員配置完了					
13:45	～競技開始～ ◇ミドルターン ◇ショートターン						
17:00	代表者会議（予定） 公式掲示	・センターハウス	16:00	レンタル回収	・1Fレンタル		
2月1日 (日)	7:30	役員集合	・大会本部	2月1日 (日)			
	8:00	会場準備	・大会バーン				
	9:30	点呼開始					
	9:40	役員配置完了					
	9:45	～競技開始～ ◇フリー 1 ◇フリー 2					
	14:00		・大会本部				
	15:00	表彰式	センターハウス前				
	16:00	全日本出場手続	センターハウス				

・公式掲示 : センターハウス

・大会本部 : スキー学校

【競技概要】

【競技種目】

1. ミドルターン

その斜面で自己の技術を最大限発揮できるターンサイズで、斜度や地形に左右されずに滑走のリズム（ミドルリズムキープ）を維持してライディングする。

2. ショートターン

その斜面で自己の技術を最大限発揮できるターンサイズで、斜度や地形に左右されずに滑走のリズム（ショートリズムキープ）を維持してライディングする。

3. フリーライディング

与えられた斜面において、ターン構成を主軸とした独創的なライディングの構成で、力強さ、優雅さ、美しさや迫力など卓越した技術で正確なスノーボードのコントロールを表現

4. グラトリ フリー

その斜面で自己の技術を最大限発揮できるグラントリックを使い、多様な操作性、技巧性を表現しライディングする。演技中、滑走スピードや推進力を得るための連続ターンを含む。フリースタイルカテゴリーは最低1回以上の180度以上の進行方向の変更を伴うトリックを条件とする、アルペンカテゴリーはエアーターン、ジャンプ等の進行方向が入れくを含む。

【禁止事項】

全ての競技に縦回転を禁止とする。

【競技方法】

1. 規制されたコートにおいて、種目内容の滑走を行う。

2. 部門別・（表彰）

- ・ 一般男子部門 (表彰3位まで)
- ・ 一般女子部門 (表彰3位まで)
- ・ マスターズ男子部門 (表彰 優勝者)
- ・ マスターズ女子部門 (表彰 優勝者)
- ・ ユース男子部門 (表彰3位まで)
- ・ ユース女子部門 (表彰3位まで)
- ・ ジュニアユース男子部門 (表彰3位まで)
- ・ ジュニアユース女子部門 (表彰3位まで)
- ・ ジュニア男子部門 (表彰3位まで)
- ・ ジュニア女子部門 (表彰3位まで)

同時開催のジュニアの部、マスターズの部と同時進行とし、各種目のスタート順については、ジュニア部門からとし各部門内でローテーションを行います。

(ジュニア→ジュニアユース→ユース→マスターズ→一般)

3. 参加資格

- ・ 一般部門（男子・女子） 令和7年4月1日現在、満18歳以上で、スノーボードバジテスト1級技術を有する者
- ・ ジュニア（男子・女子）（小学生4・5・6年）：令和7年4月1日現在、満10歳以上13歳未満の者
- ・ ジュニアユース（男子・女子）：令和7年4月1日現在、満13歳以上16歳未満の者
- ・ ユース（男子・女子）：令和7年4月1日現在、満16歳以上19歳未満の者
- ・ スノーボードバジテスト2級程度以上もしくはこれと同等の技術を有する者
- ・ スノーボードバジテスト2級程度以上もしくはこれと同等の技術を有する者

・ マスターズ部門（男子・女子） 令和7年4月1日現在、満48歳以上で、スノーボードバジテスト1級技術を有する者

5. 3審3採用で1審判団がジャッジを行う。

6. 順位決定は競技規則による。

7. 競技種目の順番については変更する場合があります。

大会1日目が悪天候等で競技が出来ない場合は、2日目に1日目の種目を行い、2日目の種目は、キャンセルとする。

8. 欠席連絡：欠席の場合は、大会事務局に連絡してください。

* 大会参加費の返金は致しません。

競 技 規 則

【公式用品用具の使用に関して】

競技は、マテリアルチェックを受け、適合した用具を使用するものとする。

S A J公式用品ブランド一覧

S A Jホームページ⇒ライブラリー⇒マーケティング

http://www.ski-japan.jp/library_cat/marketing/

【ヘルメットの着用に関して】

競技中はヘルメットを着用しなければならない。

【ビブスの着用に関して】

インスペクション等でコートに入る際は必ずビブスが見えるように着用する。

【スタート要領に関して】

選手は、スタート審判の合図によりスタートする。

1. 選手は各種目ともスタート地点に 15 分前に集合し、スタート審判の点呼を受け応答しなくてはならない。
2. 選手は前者のスタート後直ちにスタート位置につき準備を整える。
3. スタート審判の合図の後、直ちにスタートしない場合は、当該種目を棄権したものとみなす。

【フィニッシュの要領に関して】

フィニッシュは、コート下部の左右にある目印を結びフィニッシュラインの通過をもって競技終了とする。

※安全のためフィニッシュライン通過後はスピードコントロールを行い減速すること。

【演技の中断等に関して】

1. 演技を中断した場合は、その位置で体勢を整え再スタートする。中断が長引く場合は審判長の指示に従う。
2. 選手は、係員の補助を受けることができる。
3. やむを得ず途中棄権をする場合は、その旨を係員に告げ、速やかにコート外に移動する。この場合は、当該種目の得点は0点とするが、次の種目からの出場権は維持される。

【コートインスペクションに関して】

1. コート設定後のインスペクションは原則としてコート外から行う。ただし必要がある時は事前に公示・通告し横滑りによりコート内に入り行うことがある。
2. インスペクションの際には、必ずビブスを外側に着用する。
3. 詳細については代表者会議にて伝える。

※海外から参加されている選手の所属国代表者が代表者会議に参加する場合は日本語の通訳を同行させる。

【抗議に関して】

抗議は監督又は、コーチが書面を持って競技委員長に提出する。ただし急を要する場合は当該コートの審判長に申し出ることができ、(競技終了後5分以内とする。)海外から参加されている選手は、日本語の通訳を介して抗議する。

【斜面の設定に関して】

1. 競技斜面は、その条件を満たせる設定を行う。
2. 種目の規制要領は、別途提示する。

【審判員・審判方法などに関して】

競技種目の採点は公開表示による1ジャッジ 100 点満点の3審判2採用=300 点満点で評価を実施

【大会中の日程変更に関して】

会期中天候やその他の状況によって実施方法、コート変更する事がある。その場合は競技委員会で決定する。

【広報・掲示などに関して】

大会の成績及び変更内容は、公式掲示版に掲示する。

【順位の決定】

1. 4種目の合計点で決定する。
(最低1種目で競技成立とする。)
※同点の時は次の方法により上位者を決定する。
2. ①フリーライディングフリー2の得点上位者とする。
3. 上記①で決定しない時は、②フリーライディング1の得点上位者とする。
4. 上記②で決定しない時は③ショートの得点上位者とする。
5. ③上記で決定しない場合は同順位とする。

【コース整備に関して】

40 人(基準)毎にコース整備を実施する。

【その他】

競技会中のすべての最終決定は、委員会の決定による。

【本大会の出場選手の画像や映像等の配信について】

出場選手は、本大会の普及を目的として、大会中の画像や映像を各種媒体(映像媒体、紙媒体、WEB、媒体など含む。)にて配信することができます。他の出場者のプライバシーを侵害したり、大会運営の妨げとなったり、競技の安全性を確保できない配信は禁止とします。また、他の出場選手等の肖像使用や写り込みについては、自身で当該者の同意を得てください。

なお、配信においてトラブルになった際は当事者間で解決していただきます。